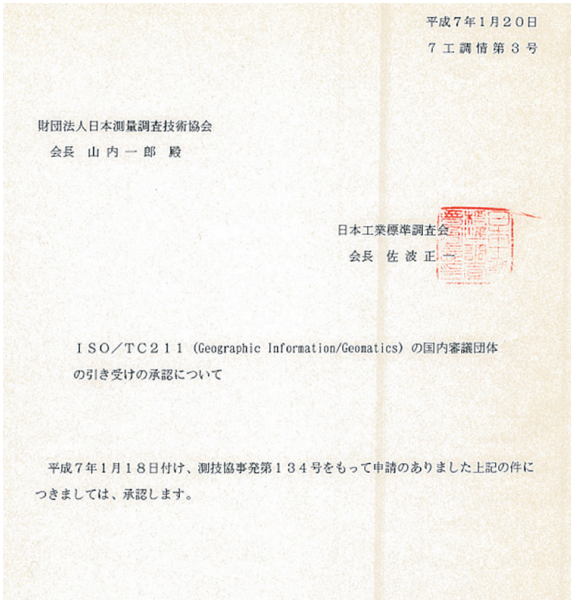
ISO/TC 211
～第48回マーリボル総会と第49回大宮総会～

津沢 正晴（公益財団法人日本測量調査技術協会）

1. ISO/TC 211について

国際標準化機構（ISO：International Organization for Standardization）は、各国の国家標準化団体で構成される1947年に設立された非政府組織である。ISOでは標準化分野ごとに計249（2018年末時点）の専門委員会（TC：Technical Committee）が組織され、それぞれの分野の国際的な標準化規格（IS：International Standard）を策定している。このうち211番目に組織された専門委員会（TC 211）が、地理情報・地理情報学（Geographic information/Geomatics）分野を担っている。

（公財）日本測量調査技術協会（以下「測技協」「当協会」）は、1995年に日本工業標準調査会（JISC）からISO/TC 211国内審議団体の認定を受けた（図1）。それから四半世紀、当協会は投票案件等の審議や総会参加者への支援等を行っている。本年12月にISO/TC 211第49回総会を日本で開催するにあたり本誌として小特集を組み、ISO/TC 211設立と日本の参加の経緯について稲葉和雄様に、今後への展望について大田守重様に、それぞれ四半世紀の間ISO/TC 211に貢献されてきた方々に寄稿をお願いした。



平成７年１月２０日
７工調情第３号

財団法人日本測量調査技術協会
会長　山内一郎　殿

日本工業標準調査会
会長　佐波正一

ＩＳＯ／ＴＣ２１１（Geographic Information/Geomatics）の国内審議団体の引き受けの承認について

平成７年１月１８日付け、測技協事発第１３４号をもって申請のありました上記の件につきましては、承認します。

図1　ISO/TC 211国内審議団体承認文書（部分）

総会は概ね年2回開催され、参加各国が持ち回りで会場を提供している（稲葉氏報文の表3）。

2018までの実績を地域別にみると、ヨーロッパ20回、東アジア9回、北アメリカ8回、オセアニア5回、東南アジア2回、西アジア2回、アフリカ2回である、西アジアとアフリカで少なく南米0などと偏りがみられるが、これはその母集団であるPメンバーの参加要件を備えている国の分布が偏っているためと考えられる。

2019年は、第48回総会がスロヴェニアのマーリボル市*で6月に開催された。そして第49回総会が日本のさいたま市大宮区で開催される。日本での開催は、第9回（1999年・京都市）、第27回（2008年、つくば市）に次いで3回目である。前回の第27回つくば総会から10年と少ししか経過していないが、この間に日本では公益法人が改組され産学官の協力環境も変わった。また国際会議それ自体も開催機会が増え、20世紀までのような業界あげての祝祭のようなものではなくなってきている。

そこで、第49回総会で日本側の実質的な事務局を測技協が担うにあり、会議運営や必要な

＊ マーリボル市やスロヴェニア共和国の概要については、本稿のコラムで紹介する。

図1a　マーリボル市街 ©OpenStretMap Contributors

図1b　スロヴェニアとその周辺国
©OpenStreet Map Contributors

表1　ISO/TC 211 第49回総会への日本からの出席者（敬称略）

氏名	所属	記事
矢萩 智裕	国土地理院	団長
芹沢 由尚	国土地理院	
プルース リース	日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）	
岩男 弘毅	産業技術総合研究所	
津沢 正晴	（公財）日本測量調査技術協会	
迫田　航	（公財）日本測量調査技術協会	

写真1　日本代表団（閉会時）国土地理院提供

体制・設備等に関する調査と次回開催地の案内講演を行うことを兼ねて、当協会GISセンターの2名がISO/TC 211第48回総会に出席した。

2. マーリボル総会の視察と講演

第48回総会は、各プロジェクト・作業グループ等の個別会合を含め2019年6月3日（月）から7日（金）にかけて催された。会場は、マーリボル大学の電子工学コンピュータ科学研究所（UM FERI）。総会参加者には昼食用クーポンが配られ、セルフサービスの学食が利用できた。

UM FERIはマーリボル中心市街の西縁部にあり、東縁部にある鉄道駅やバスターミナルから約1.5㎞、総会参加者が宿泊している比較的大型のホテルがある区域から約1㎞。路線バスもあるが、運転系統や運賃払い方法を調べて停留場で目的の便を待っている間に徒歩で移動できてしまう程度のコンパクトな市街である。

スロヴェニア側の主催者は同国の標準化局（SIST）で、同局のSimon Vrečar氏が事務局の実質代表を務めた。総会参加者数は95名、日本からは、国土地理院の矢萩氏を団長として計6名が参加した（表1、写真1）。

6月3日（月）4日（火）は、各作業グループ（WG）の会合が行われ、日本からの参加者は、WG4（地理空間サービス）、WG7（情報通信）、WG9（情報管理）、WG10（ユビキタスアクセス）に分担出席した（一部Web会議システムで日本国内から参加）。中日6月5日（水）は公開セミナー“Standards in Action”が催され、測技協からはこのセッションから参加した。総会（Plenary）は最後の2日間で行われた。TC 211事務局（スウェーデン）の新議長Agneta Engberg氏と委員会総括のMats Åhlin氏が総会を進行し、全41の決議が採択された。これらはTC 211が公開している文書（N 5120）に記されている。主な決議は次の通りである。

決議925：前議長Christina Wasström氏（スウェーデン）へ感謝、

決議926：選任された新議長Agneta Engberg

氏（スウェーデン）の歓迎、

決議927：チリのPメンバー復帰、

決議928：ウガンダのPメンバー新規参加、

決議938：TC 20/SC 14（宇宙技術）との新たな協力関係、

決議939：ISO/TC 211とOGC（オープン地理空間情報コンソーシアム）との協力支援文書、

決議940，941：ISO 19166（BIMからGISマッピング）の休止と再開

決議948：ISO 19115-2（メタデータ取得処理の拡張）2019年11月までにDIS（国際規格案）投票、

決議950：ISO 19157 2013（地理情報の品質）の改訂、

決議962：測地レジストリ公表の周知、

決議965：今後の会合日程（第49回大宮総会日程を公式に議決）

大宮会場の紹介講演は、6日の総会1日目をいったん閉会し、Engberg議長のご好意により15分間の特別枠を設けていただき実施した（写真2）。講演では、先ず日本国内における「大宮」の場所として、そこが東京都心から北西へ約30kmにあり、東京とその近郊からの鉄道路線が集まり、東北～北陸信越地方にむけて新幹線が分岐するという交通の便が良い街であることを、地理院地図及びオープンストリートマップを使って示した後、会場となる大宮ソニックシ

写真2　大宮会場の紹介講演 左端はEngberg議長

図2　講演スライドの一部

ティの概要、周辺のホテルの分布、さいたま市大宮区では盆栽園芸が盛んであること、さいたま市をホームタウンとするプロサッカーチームが2つあること、日本一長い参道を持つ武蔵国一宮・氷川神社のことなど文化面の紹介などを行った。

3. 大宮総会の計画

ISO/TC 211第49回総会は、次の要領で開催する計画である。

開催期間：2019年12月9日（月）～13日（金）
開催場所：大宮ソニックシティ（さいたま市大宮区桜木町1-7-5）
開催日程：（表2のとおり）
主　　催：ISO/TC 211本部事務局（スウェーデン）、国内委員会（事務局:測技協）
参 加 者：国内外約90人（見込み）

会場となる大宮ソニックシティは、大小ホール・国際会議室・展示場・市民ホール・大小会議室群・都市ホテルからなる総合コンベンション施設で、公益財団法人埼玉県産業文化センターが運営している。設立は1978年で、1990年代には建設省（当時）国土技術研究会等も催され、2003年には地図展の会場となった。大宮駅西口から至近にあり、前項で言及した大宮駅の利便性と併せ、人々の参集に適した立地である。

測技協では、ISO/TC 211第49回総会に併せ、に12月期の理事会も同じ会場で行い、ISO/TC 211の内外関係者との交流を深める予定である。さらに、例年は地方都市を会場としている地理空間計測・活用技術セミナーを大宮ソニックシティで開催する。地理空間計測とその成果の活用に関わっている皆様の奮ってのご参加を期待している。

■参考文献

1）千田 善（1993）:『ユーゴ紛争－他民族モザイク国家の悲劇』講談社現代新書、270p.
2）外務省（2019）:スロベニア共和国（Republic of Slovenia）基礎データ. https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/slovenia/data.html
3）ISO/TC 211（2019）：Resolutions 48th Plenary meeting in Maribor 2019-06-03 - 2019-06-07. N5120, 11p.
4）NATEK, K,・重盛千賀子 訳（1996）:『スロヴェニア』Cankarjeva Zarožba, Lubljana, 139p.

表2　ISO/TC 211第49回総会（大宮）の日程計画

日程	時間帯	会議・行事
12月9日（月）	09：00 － 17：00	ワーキングG、プロジェクトT
	15：00 － 17：00	測技協　第40回理事会（予定）
	18：00 － 20：00	オープニングレセプション
12月10日（火）	09：00 － 17：00	ワーキングG、プロジェクトT
12月11日（水）	09：00 － 17：00	ワーキングG、プロジェクトT
	19：00 － 21：00	ガラディナー
12月12日（木）	09：00 － 17：00	TC211総会
	09：50 － 17：05	地理空間計測・活用技術セミナー 2019in大宮
12月13日（金）	09：00 － 12：00	TC211総会

コラム：スロヴェニア共和国とマーリボル市

スロヴェニアは、国土面積20,273㎢で四国とほぼ同じ。人口は207万人（2018年、四国375万人）。アルプスの一角をなす西部山岳から、アドリア海沿岸の石灰岩が卓越するクラス（カルスト）地方、ハンガリー平原に続く東部丘陵地帯まで、それぞれ隣接する国々につながる多彩な風土を有する。首都リュブリャナは、国土ほぼ中央の盆地にあり、人口29万人。オーストリア・ハンガリー帝国領だった1918年までライバッハとドイツ語名で呼ばれていた。現在の公用語は南スラヴ語系列のスロヴェニア語である。

スロヴェニアは、1991年6月に旧ユーゴスラヴィア連邦から独立した。「南スラヴ人たちの国」という意の国名だったこの連邦は現存しない。連邦の概況を表した次のような数え詩があった。

「7つの国と境を接し、6つの共和国を、5つの民族が構成し、4つの言語を話し、3つの宗教を祭し、2つの文字を用い、1つの国として団結している」（意訳）

ローマ帝国の東西分割からキリスト教と文字とがそれぞれ2分され、オスマントルコ帝国はイスラム教を遺した。第二次世界大戦後の中立政策により冷戦の狭間で存在感を示していたが、1990年代の凄惨な内戦の末解体した。6つの共和国は独立国となったが、共存していた複数民族が各国内に自治区を設けそれらが現状固定されている。そんな中で、スロヴェニアは言語・宗教の均一性が高く、連邦時代から産業が発達した先進地域でもあったことから、比較的早期に内戦を乗り切った。

マーリボル市は人口11万人で、首都に次ぎ第2の都市である。旧帝国時代のドイツ語名はマールブルク。市街を流れるドラヴァ川はアルプスの源流からオーストリア～スロヴェニア～クロアチア／ハンガリーの国境沿いを流れドナウ河に合流する。左岸の丘陵斜面にブドウ畑が広がり、良質なワインの産地である。市街河畔に世界最古といわれるブドウ樹がある。右岸以南の地方ではホップ栽培が盛んで、日本のビール会社の主要輸入元である。マーリボル市含むスロヴェニア北東部とオーストリア南東部は同じ水系に属し、旧帝国時代はシュタイアーマルク州（スロヴェニア語でシュタイエルスカ）に属していた。市内で宿泊したホテルの朝食にはパプリカが出され、ハンガリーの近さが実感された。

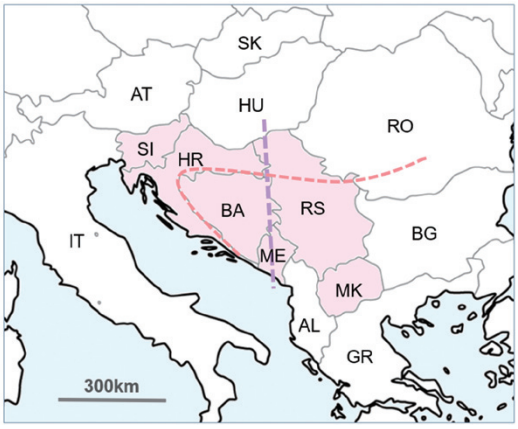


図3　旧ユーゴスラヴィアと周辺国
旧ユーゴスラヴィア領域は薄赤に彩色

オスマントルコ帝国の国境（18～19世紀）

ローマ帝国の東西分割境界（4世紀）

SI：スロヴェニア Slovenija
HR：クロアチア Hrvatska
BA：ボスニア・ヘルツェゴヴィナ Bosna i Hercegovina
RS：セルヴィア Србија
ME：モンテネグロ Црна Гора
MK：北マケドニア Северна Македонија
AL：アルバニア
AT：オーストリア
BG：ブルガリア
GR：ギリシア
HU：ハンガリー
IT：イタリア
RO：ルーマニア
SK：スロヴァキア